



Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ

NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOMENAKAKU,
NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 ビジョンある奉仕
- ② アジア会長標語 深めよう地域社会に兄弟愛を
- ③ 日本区理事標語 勇気ある変革・愛ある行動! -日本区 6000 への実りを求めて-
- ④ 中部部長標語 今こそワイズ!
- ⑤ 会長標語 感動を心に若い力を!

1995年 6月号

Inspiration to Spread Our Wings with Youthful Power

〈 今月の聖句 〉

だから、わたしの愛する人たち、いつも従順であったように、わたしが共にいるときだけでなく、いない今はなおさら従順でいて、恐れおののきつつ自分の救いを達成するように努めなさい。あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。

フィリピの信徒への手紙 第2章 12節

1995年6月例会のご案内

◎ 第一例会

と き ; 6月12日(月) 19時~21時
と ころ ; 名古屋 YMCA 3階 AV ホール
名古屋市中区上前津 2-5-29
☎ 321-1600

プログラム ; 第49回日本区大会報告

6月3日~4日、横浜で開催された「第49回日本区大会」の報告を行うと共に、1997年度日本区大会を名古屋へ招聘するという動きを、今後どのように進めていくかについて、メンバーの意見交換を行いたいと思います。多数の出席をお願いします。

◎ 第二例会

と き ; 6月27日(火) 19時~20時30分
と ころ ; 名古屋 YMCA 4階407号室

◎ ブリテン委員会

と き ; 6月中旬 詳しくは第一例会にて
と ころ ; 名古屋 YMCA

◎ 第4回名古屋地区ワイズメンズクラブ連絡会

と き ; 6月7日(水) 19時~20時30分
と ころ ; 名古屋 YMCA 4階 407号室

※名古屋地区ワイズメンズクラブ間の情報交換及びYMCA諸行事に対する支援協力等について、各クラブ会長・次期会長・連絡主事が出席します。ご意見等あれば、出席者までお願いします。

グランパストーク

がんばれ!! 世界の野茂

真田 幸治

世間を騒がす大事件が続き何かと不安な事が多い今日この頃であります。今回はちょっと明るい夢のある野球のお話を取り上げます。

昨年まで近鉄バッファローズで活躍していた野茂英雄投手が米大リーグのドジャースに入団し、先日は本拠地のドジャーススタジアムでも登板し3失点は喫したが毎回の5三振を奪うなど、なかなかの評価を得ているようです。野球ファンならテレビのニュースで野茂投手が投げている姿を見ると“がんばれ”と熱くなっているのではないのでしょうか。

日本人として2人目のメジャーリーガーとなった野茂投手も今に至るまでは日本球界との問題・家族の事・言葉の問題等、いろいろなことを乗り越えてがんばったの結果だと思えます。何年アメリカでプレーするのか解りませんが160kmの速球でメジャーのドクターKを目指して我々に夢をあたえて欲しいと思えます。

ここでドジャースのお話をひとつ。ドジャースは組織の中に103人の外国人選手をかかえており、うち42人と契約を結んでいます。彼らの出身国は14ヶ国に及び、いちばん多いのはドミニカ共和国で何と66人。日本・韓国・キューバ等は1人ずつだそうです。優勝を目指して地球的模様で選手を集めているそうです。来年には第二の野茂が……

5月31日現在	例会出席状況				BFポイント		クラブファンド(月)	
	在籍者	24名	第1例会	13名	当月・切手	-	ニコBOXノート	-
	例会出席者	16名	第2例会	11名	当月・現金	-	ファンド	-
	当月出席率	67%	部会他	14名	累計	-	合計	-



5月第一例会報告

馬場寅太郎

元 プラザワイズのチャーターメンバーであった大原茂幹氏をお招きし、脳神経疾患の治療の様子を脳外科手術のビデオを通して誰にでもわかる様に説明していただきました。

まず、脳の構成とCTスキャンによる脳内部の構造を把握しました。次に色々な症例の手術を順を追って解説してもらいましたが、その様子はたいへんリアルでした。

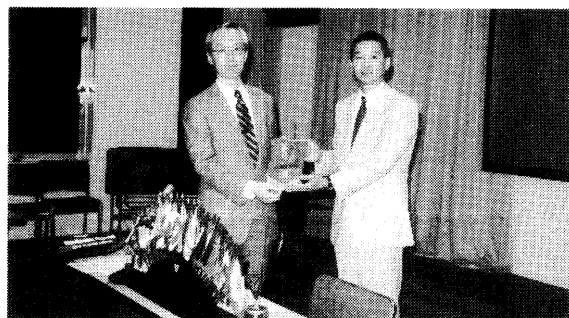
① 脳動脈瘤手術 動脈血管の途中にこぶができ、その破裂又は破裂を防ぐための手術です。血管とこぶを遮断（こぶに血液が流れない様にする）するためクリップではさんで留めます。クリップはそのまま永久に放置し、ずれたりすると大変なものはめるには慎重を要します。眼球ぐらいの巨大なこぶには5ヶのクリップを使うほどでした。

② 脳梗塞手術 血が通にくい側に強制的に血を送るため頭皮から血管を採取し、血が通にくい側と正常な血管とをつなぎます。糸で縫って結ぶ作業はまさにミクロの世界で、糸は顕微鏡でないと見えない程です。綿密で神経をすり減らしそうです。この様な手術が成功すると、意識障害とか手足の神経麻痺が治るのでから脳の治療は不思議です。

脳医学には神経外科と神経内科があり、難病の痴呆症は今だ治すのか困難だそうです。問題のクモ膜下出血は、日本で年間10万人に20人程度発症し、内3分の2が発見され治療されます。治って社会復帰できるのはその内2分の1です。出血前発見のためにはMRIによる撮影ができる脳ドックがありますが、あまり普及さ

れてません。また、動脈瘤破裂前発見は外見だけでは判断できず、いずれにしても激しい頭痛などが発生したらなるべく早く専門病院に行くことです。

手術時間は普通の動脈瘤で3時間、巨大なもので6時間、困難なもので8時間かかる場合があります。ふだん正常であたりまえの脳の世界、今後の健康のためにも知っておくべきことが多い例会でした。



筍掘り & バーベキュー

坂倉 洋

一昨年より待ちに待った三井会長宅での筍掘りが5月14日に行われました。

当日、天気はあいにく雨模様。しかし三井会長夫妻が、早朝よりフライシート（タープ）張り、テーブルの用意、かまどの用意等万全の準備にて10時頃から始まりました。

三井会長宅の広大な竹林には筍を探すというよりはそこらじゅう筍だらけ、早速筍をいっぱい取り、かまどの釜へ。取れたての筍は、とてもやわらかそうでおいしそう～。同時に坂口兄らがバーベキューとローストビーフの準備。その他のメニューとして三井メネットの用意してくれた筍の煮付けとフグのカラ揚げ、焼きそば、さんま、ししゃも、おにぎり、ハンバーグ、服部兄持参のおいしいソーセージ、ゆで上がった



筍の田楽、焼あさり等の豪華な昼食でした。

雨が降り続いていたので食後は、家の中で三井メネット自家製のチーズケーキのデザート。コメットと坂口兄は、ビデオにテレビゲーム、さよちゃん（三井兄のいちばん下のコメット）の部屋でどたんばたん。庭では、グランパスのメンバーが、ビール、冷酒、ウイスキー、ブランデー、チュウハイなんでもあれ。加藤姉、荒川兄は、雨の中また筍掘り。そうかとおもえば子供たちは、雨の中でブランコ、竹林の探検。帰りは帰りたくない子、三井家の子供になりたい子がいて大変でした。

今回の参加メンバーは、メンバー8名、メネット6名、コメット11名、ゲスト4名の総勢29名参加の大盛会でした。

最後に今回たいへん御迷惑をおかけした三井会長のすてきな奥様に感謝!!



〈韓国サンドクラブ・IBC 締結報告〉

丹羽 真清

韓国中部地区大会で仁川（インチョン）サンドルクラブと名古屋グランパスクラブが国際兄弟クラブの締結を行うため5月19日から21日まで、メンバーほか17名が韓国を訪れました。

19日午前11時半頃ソウル着 サンドルクラブの方のお出迎えを受け、ひとり一人がバラの花で歓迎され再会を喜び合いました。

午後からはロッテワールドアドベンチャーに行きモノレールで全体を見た後、各自が思い思いの乗り物に乗り子供にかえたように楽しみました。又、韓国の歴史と文化がひと目でわかる民族博物館では、紀元前から現代までの歴史・文化・生活様式が模型で表され、言葉の壁を越えて理解できるように作られていることに感激しました。

夜は韓国の焼肉、カルビやプルコギとともに



眞露を飲みながら白菜キムチ、水キムチ、キムチ炒飯を楽しみました。

20日朝、サンドルクラブの方々がバスでホテルまで迎えに来て下さいました。

インチョンまでの、バスの中で池会長と三井会長の締結を迎えるにあたっての喜びの挨拶が交わされました。

マッカーサーが上陸した記念碑のあるソンドー遊園地で記念撮影をし、近くの“札幌”という和食のお店で大歓迎の昼食会。つきだしに始まり、天ぷら、鯛のさしみ、寿し、茶碗蒸しと次から次へと出て来る料理にサンドルクラブの方々の心遣いが伝わって来ました。

午後3時からインチョンのYMCAが主管となって中部地区大会が開催されました。言葉は理解できなくとも「大会式順」を見ながら進行状況は把握できました。

6時半ごろサンドルの池会長、グランパスの三井会長、日本区IBC事業主任の池野兄が段上に上り締結書と握手を交わし花束を受け調印式は無事終了、ジーンと胸にくるものがありました。夜9時頃閉会し、サンゲタンをご馳走になりながら締結の喜びを分かち合いました。

インチョンからソウルまで帰路1時間半をサンドルのメンバーの方々もバスに同乗してホテルまで送って下さいました。中部地区大会の準備等で大変お疲れだったと思いますがこの接待ぶりには頭が下がります。

翌日は3組に分かれ観光、ショッピング、アカスリ、などを楽しみました。

夕方、金浦空港へサンドルクラブの方々がお見送りに来て下さいました。ハングル語を勉強して再会しましょうと約束を交わしました。

グランパスの皆さん頑張ってハングル語を勉強しましょう。

次期会長研修会

井川 幸吉

組織的なYMCAについて今まで次期会長の研修会がなかったのが不思議な気がします。日本133のワイズの内東西2つに分け78が西ブロックで68名の参加がありました。内容は非常にアカデミックでYMCAならではの60%の冗談と40%の真剣さで研修会が進みました。驚く事には次期会長のほとんどが初めて会長を経験する人という事で、会長になるという緊張感と不安感をみんな同じ様に味わっていて、非常に安心して参加ができました。次期会長の大半は40才以上で50~60才はざらという、時代と共に成長してきたワイズの高齢化現象を見たように思いました。ここへ来てよかったのは、ほとんどの人が初めて会長を経験するのだという安心感と、会長としての基本的な認識をしなければならない事、中部・日本区・国際とワイズの置かれている組織的な事情を極めて簡単にかつ明瞭に聞く事ができた事、そして自分もその組織の一員だという自覚ができた事だと思います。

第2例会報告

5月23日(火)YMCAにて、三井会長、井川兄、尾崎兄、荒川兄、池野兄、服部兄、加藤姉、坂倉兄、坂口兄、吉田一兄、滝川兄以上11名の出席者で、5月20日(土)に行われた韓国サンドルクラブとのIBC調印の報告と、反省、さらに先方のクラブの質の高さを再度認識したとの報告があり、今後の活動のあり方を話し合いました。

次に、横浜日本区大会の出席者は、3台の車で一緒に出かける打合せをし、大会終了後は、横浜中華街で、沖縄シーサークラブとの懇談会を兼ねて打ち上げをする予定だとの報告がありました。井川次期会長の会長研修会報告、YMCAからのリーダーシップ養成ワークショップの案内があった後、前回から話の出ている1997年第50回日本区大会の主催を引き受ける件についての話し合いに入りました。いろいろな面で意味のある大会であり、数少ないチャンスなので、名乗りを上げてよいのではないか、それには、名古屋の他クラブからも十分に意見を求めながら進めていく必要がある事を話し合いました。最後に滝川兄よりクラブからの香典のお礼がありました。お父様のご冥福を心よりお祈りいたします。

94-95 出席表

95.5.31

No.	氏名	5/8 第一例会	パ5/1 14キ 1	I5/B C19 結式20	5/23 第二例会	パ5/1 28キ 和1田					出席 ポイント
1	阿部 一雄	○	○	/	/	/					21
2	荒川 恭次	○	○	○	○	/					31
3	井川 幸吉	○	/	/	○	/					28
4	池野 輝昭	/	/	○	○	○					21
5	内垣内 登墨	○	/	○	/	/					20
6	馬場 寅太郎	○	○	○	/	/					16
7	尾崎 史忠	/	/	/	○	/					17
8	加藤 道子	○	○	○	○	/					29
9	坂口 功祐	○	○	○	○	/					46
10	坂倉 洋	○	○	○	○	/					35
11	佐藤 壽晃	/	/	○	/	/					23
12	真田 幸治	/	/	/	/	/					4
13	滝川 眞充	○	/	/	○	/					8
14	丹羽 眞清	/	/	○	/	/					25
15	服部 庄三	○	○	○	○	/					36
16	早川 隆	/	/	/	/	/					18
17	林 勝博	/	/	/	/	/					1
18	坂野 清治	○	/	○	/	/					11
19	三井 秀和	○	○	○	○	/					45
20	宮木 常二郎	/	/	/	/	/					0
21	油口 直広	/	/	/	/	/					15
22	吉田 一誠	/	/	/	○	/					33
23	吉田 正	○	/	○	/	/					19
24	木野村 映	○	/	/	/	/					41

◀各クラブ6月第一例会のご案内▶

- 名古屋クラブ; 6月13日(火) 於YMCA
委員会総括・次期方針
- 東海クラブ; 6月9日(金) 於YMCA
卓話-知られざる国
- 南山クラブ; 6月8日(木) 於南山YMCA
リフレッシュ・フィットネス
- プラザクラブ; 6月17日~18日 於湯の山
POM
- サウスクラブ; 6月21日(水) 於東海YMCA
年次総会

ハッピーバースデー

- メンバー 7日 林 勝博
- 26日 滝川 眞充
- コメント 9日 宮木 乃里子
- 11日 林 博範